

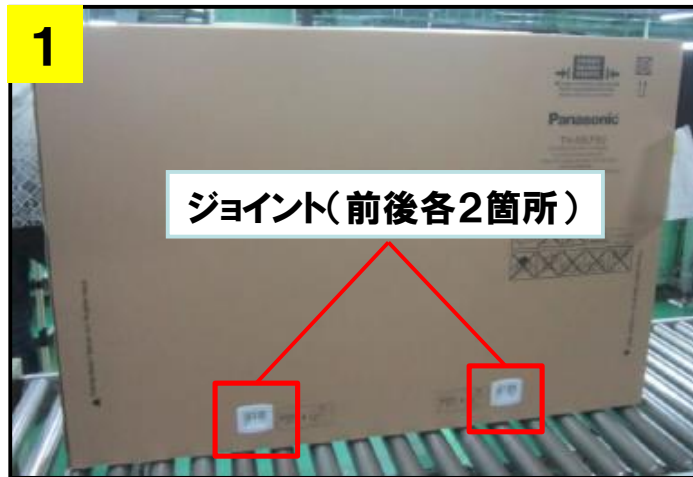
Video Wall 施工マニュアル



目次

●開梱	3
●設置	
設置/移動時の注意点	4
壁掛け金具	6
VESA金具の取り付け	7
マルチ設置の注意点	9
設置環境条件	14
電源の接続	18
ディジーチェーン接続	19
リモコン信号到達距離	25
●画質調整	
カラーキャリブレーション	26
●メンテナンス	
メンテナンスについて	27

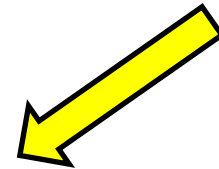
開梱手順



ジョイント(4ヶ所)を外す



アクセサリと緩衝材を取り出す



上部ダンボール箱と全面緩衝材を取り出す

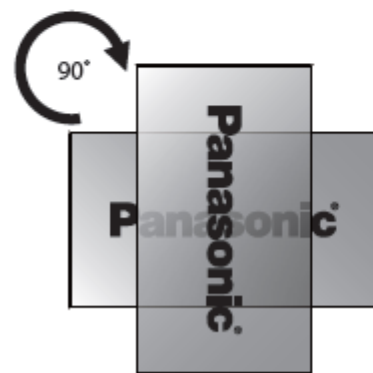


袋を取り外す

設置または移動するときの注意

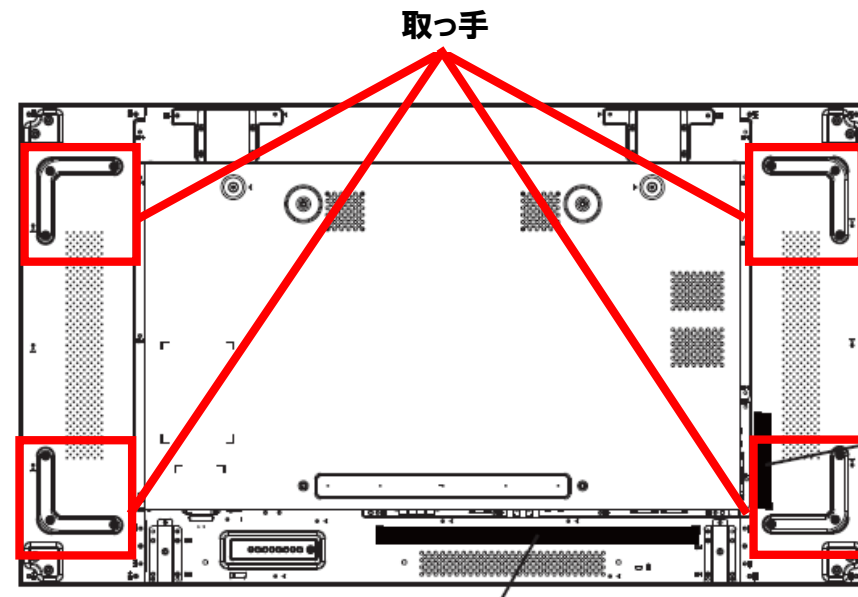
本製品の落下を防止するために：

- ・ 本製品を移動させる際は、取っ手を持ちます。
- ・ 取っ手以外の場所を持たないでください。
- ・ 本製品を移動する際は、丁寧に、2人以上で持つようにします。本製品は不注意から壊れやすいことを念頭に置いてください。
- ・ 本製品を壁または天井へ設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用して設置することを推奨します。設置の詳細説明については、それぞれのブラケットに付属の説明書を参照してください。
- ・ 地震やその他天災が起きた際に、本製品の落下によるけがや破損の可能性を下げるため、設置場所については必ずブラケットメーカーに相談してください。
- ・ 縦置きする場合には、本製品を右に回転させます。

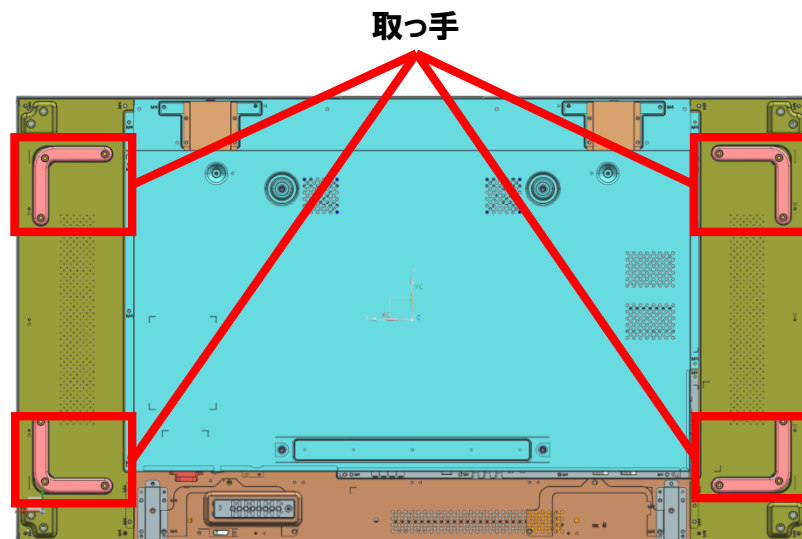


注意：

- ・ 左に回転させて使用しないでください。

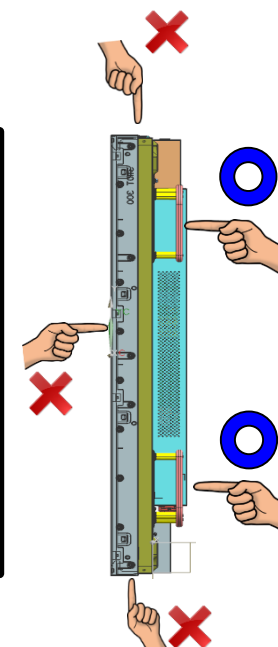
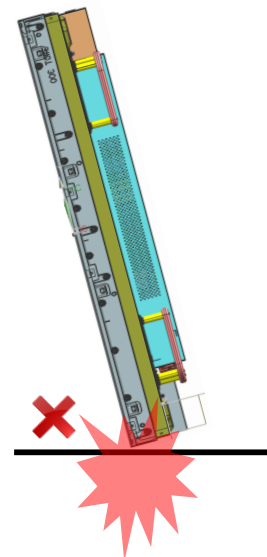


- ・ 移動の際は、製品を伏せたり寝かせた状態でなく、正立状態で移動をさせてください。
- ・ マルチ設置の時は、電源OFFの状態で、モニター間の隙間を0.5mm開けてください。



- ・ モニターの表示面や端を持つとパネルの破損につながるため必ず取っ手を持って作業して下さい。
- ・ モニターの上下左右、またモニター表示面に触れないで下さい。
- ・ モニターの底面、表示面を直接置くと、モニターの破損につながるため、直接、置かないでください。
- ・ モニターに衝撃を与えないでください。

作業の際、製品を捻じらない様にして下さい。



壁掛け金具の注意点

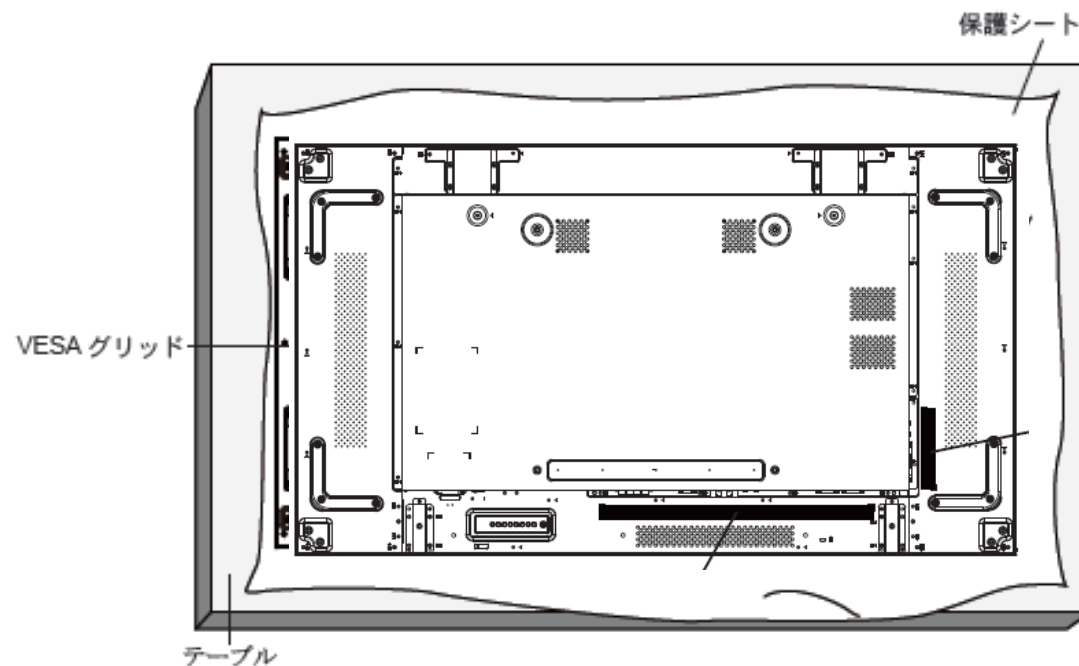
マルチモニター用の金具を準備する場合は、下記についてご配慮下さい。

- ① 金具を取り付ける壁面に、凸凹の曲がりがないこと。
- ② 金具にモニターを取り付けた時に、十分な耐加重をもつ金具であること。
- ③ 金具は上下・左右・前後・傾きの調整が可能であること。
- ④ 金具は、設置や移動の際、モニター背面、ケーブル引き回しおよび他の構造物に干渉しない構造であること。
- ⑤ モニターが容易に外せる構造であること。
- ⑥ モニターの引き出し、固定の際にモニターに捻じれが発生しない構造であること。

金具の取り付け

金具を取り付ける場合は、下記に注意して下さい。

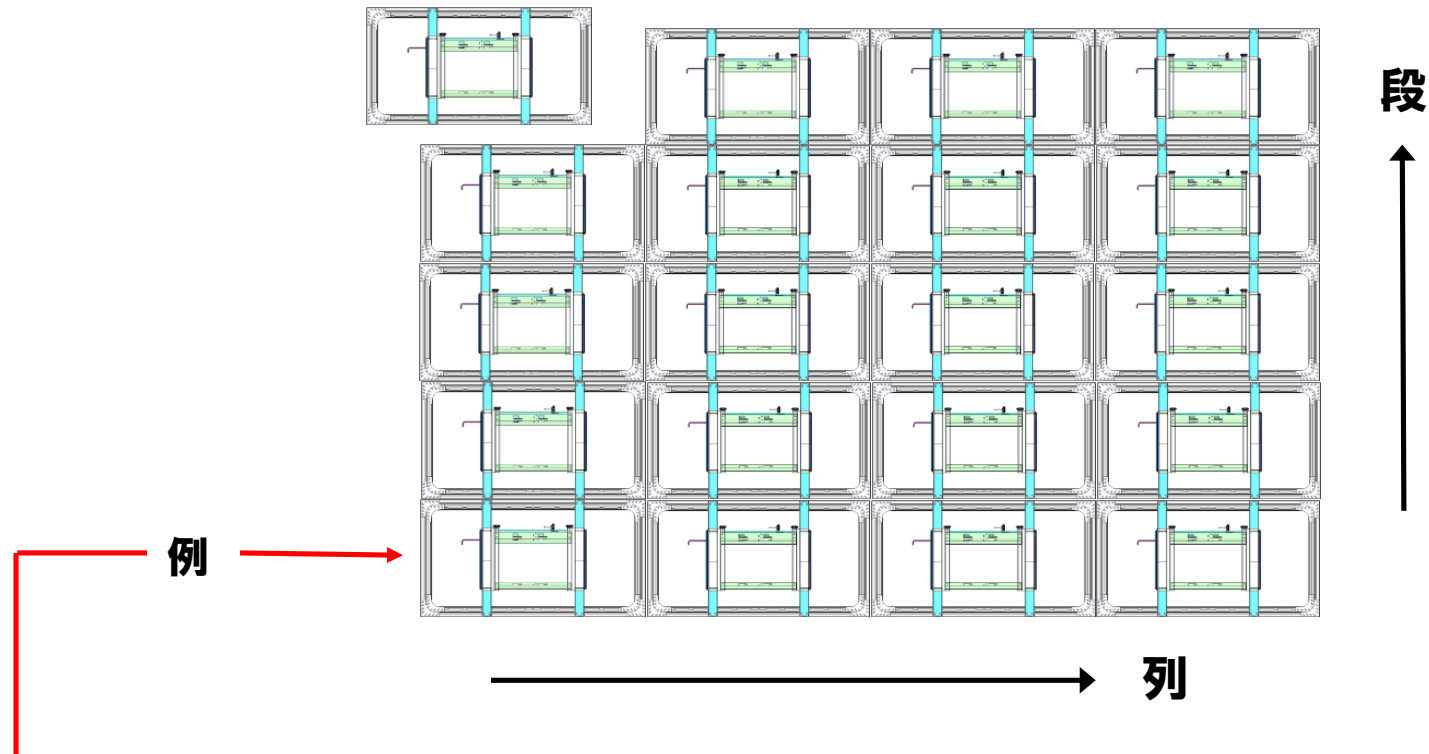
1. 本製品を取り付けるため（壁掛け、天上取り付けなど）のすべての付属品があることを確認して下さい。
2. 梱包時の本製品を覆っていた保護シートを平らなテーブル上に敷き、画面表面に傷が付かないように画面表面を下にします。
3. 台取り付けキットに同根の説明書に従ってください。正しい取り付け手順に従わない場合、装置の破損、またはユーザーや取り付け作業者のけがにつながります。不適切な取り付けが原因の破損は、製品保護範囲に含まれません。
4. 壁取り付けキットには、M6取り付けねじ（取り付けブラケットの厚さより10mm～16mmまでのネジ）を使用し、しっかりと締め付けてください。



本製品下部に保護L字材とパネル保護フィルムが付いています。
VESA金具取り付けの際は、取り外してください。

オプション金具 TY-VK55LV2 を使用してマルチスクリーンを設置する際の最大台数は下記となります。

- TH-55VF2H/VF2 : 4列5段
- TH-55VF1H : 5列6段
- TH-55LFV9/LFV8 : 9列11段

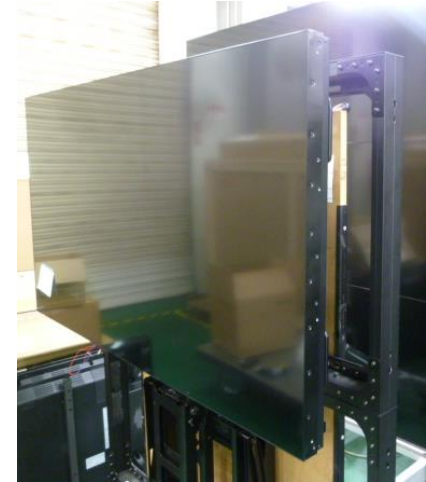
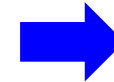
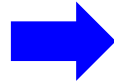
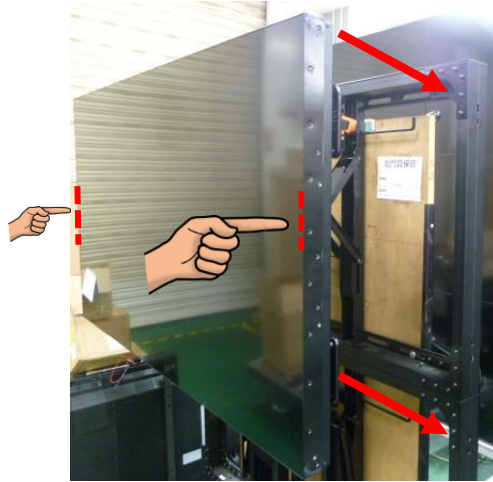


起点の金具の上下左右の位置調整ダイヤルは、開梱時のセンター位置ではなく、設置方向側の偏心位置にしてから取り付けを行ってください。

モニター設置時の注意点 1 LFV8/9 をご使用の場合

調整機構がある壁掛け金具をご使用の際は、
モニター位置の微調整は金具で実施して下さい。

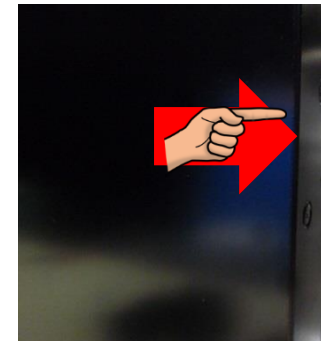
左右それぞれに約70Nの力を加えると金具が後ろに動きます。
※オプション金具 TY-VK55LFV1/2 をご使用の場合



注意点①



モニター表面のアクティブエリアや、コーナー部を押さないでください。
左右の中央付近のベゼルを押すようにしてください。
(モニター面に対して垂直に押してください。右参照。)
左右均等に力を加えてください。



注意点②

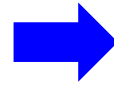
ベゼルを外側に向く方向へ力を加えるとベゼルが
変形する恐れがあります。
(約20Nでベゼルが開いてしまいます)
モニター面に対して垂直に力を加えてください。

モニター設置時の注意点 2

VF1/2 をご使用の場合

左右それぞれに約70Nの力を加えると金具が後ろに動きます。
※オプション金具 TY-VK55LFV1/2 をご使用の場合

調整機構がある壁掛け金具をご使用の際は、
モニター位置の微調整は金具で実施して下さい。



注意点②

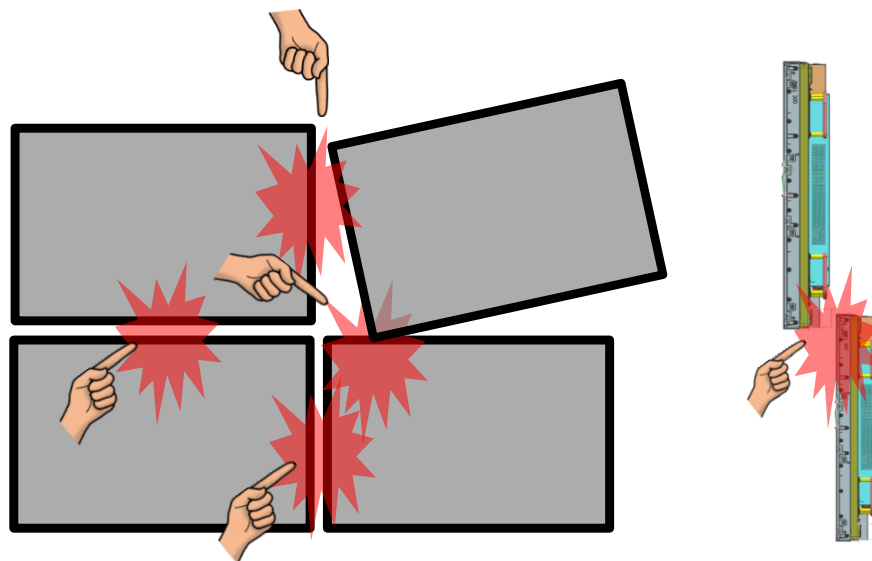
- a) モニターの背面で作業出来ない場合には、
モニターを最後に押し込む時は、モニター両サイドの前面を両手を開いて、
モニター面への手の圧力が均一になる様に、ゆっくりと押して下さい。
- b) モニターの背面で作業出来る場合には、
背面から金具を引いて、モニターを押し込んで下さい。



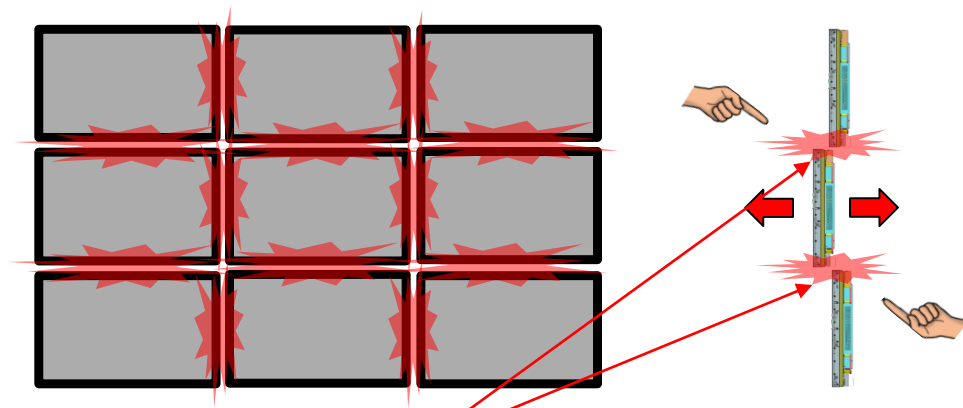
注意点①

隣接する上下左右のモニターのベゼルと、設置するモニターの
ベゼルが互いに擦り合わない様に注意してモニターを押してください。

モニター設置時の注意点 3



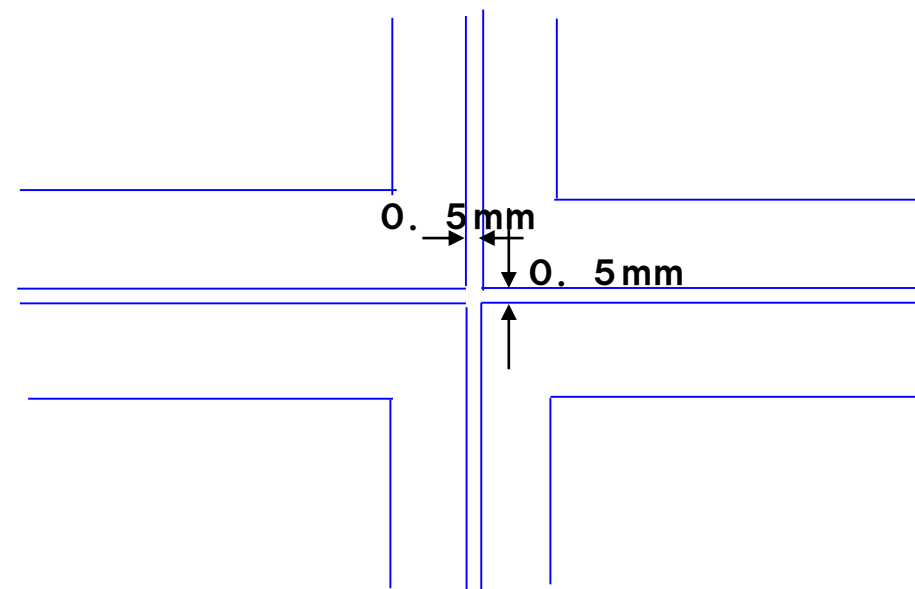
モニターのコーナーを当てないでください



モニターを前後に移動させる時に、上下左右(4辺)を擦らないでください

モニター間の隙間の確保について

- 電源投入後、モニターは熱により若干膨張します。
マルチモニターを設置する場合には、各モニター間にこの
発熱による膨張見合いの隙間（0.5mm）を上下・左右共に
確保する必要があります。
セット間の隙間（左右・上下方向とも同様）



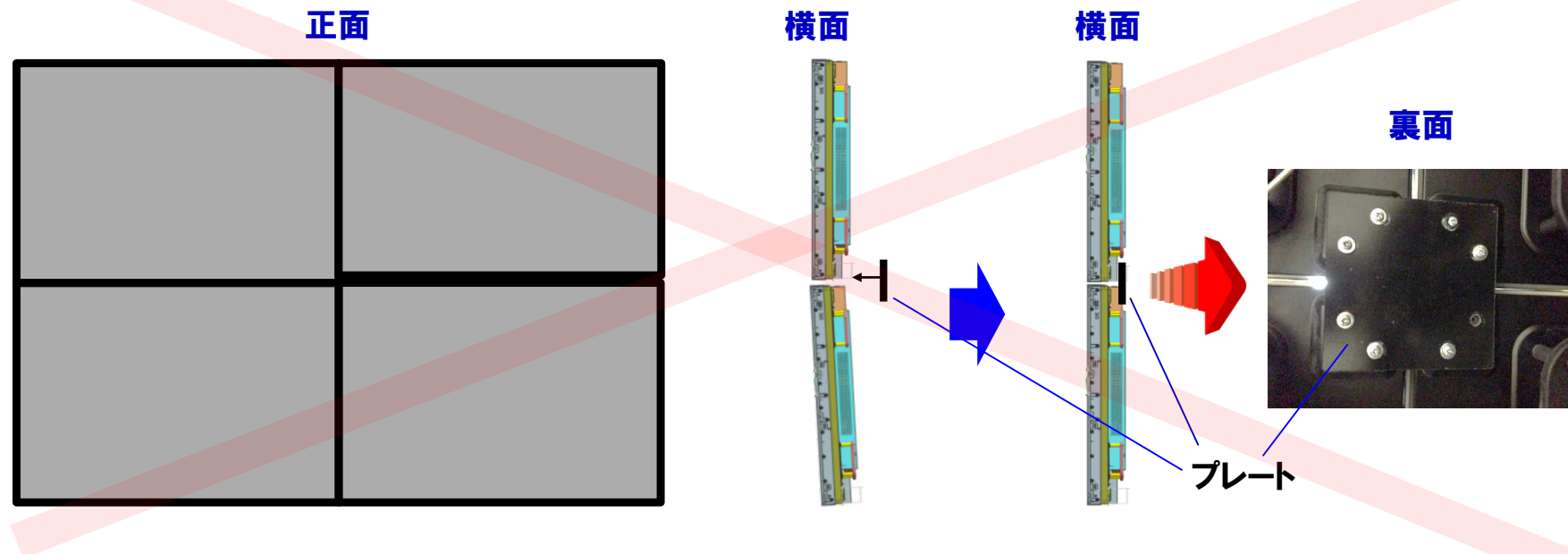
隙間の確認は、下記の方法で実施して下さい。

- マルチ端側部分では、隙間0.5mmをスケールなどで確認してください。
- マルチ内側部分では、比較的やわらかい名刺の2枚重ねなどで確認してください。

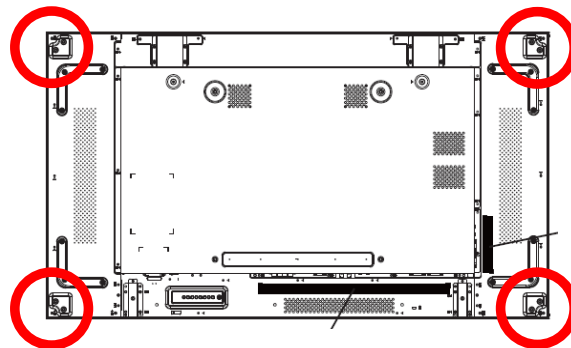
注意点

ベゼル部に応力が加わるのを防ぐために隙間確認時には、
名刺を2枚重ねた物や厚紙等をノギスで測定した上でご確認下さい。
(隙間ゲージ等の固いものは使用しないで下さい。)

モニター設置時の注意点 4



モニターを背面金具に取り付け、位置調整を行った後、プレート等を使用して前面の位置を調整しないで下さい。
プレートは、補強用の為、位置調整用として使用した場合、モニターに歪が生じ、映像不良となる可能性があります。



モニター背面のコーナー部の穴は、オプションのPanasonic金具
TY-VK55LV1、TY-VK55LV2 以外は使用しないで下さい。

モニター本体の主な留意点

- 設置モニターの環境条件が下記となる様に、空気の流通を確保して下さい。

温度：0℃～40℃

湿度：10%～90%（結露しないこと）※1

※1：LFV8/LFV9モデルの場合は、20%～80%（結露しないこと）

- 下記の通り、空間を確保して下さい。

1）単体設置の場合

上下左右：100mm以上、後面：50mm以上の空間を確保して下さい。

2）マルチ設置の場合

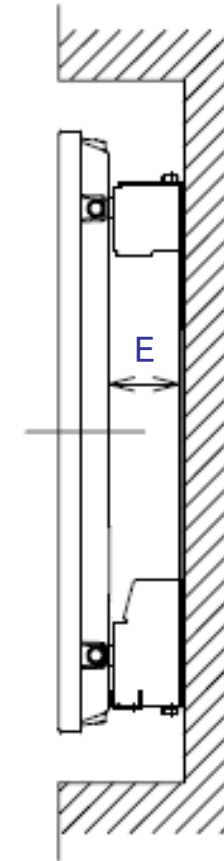
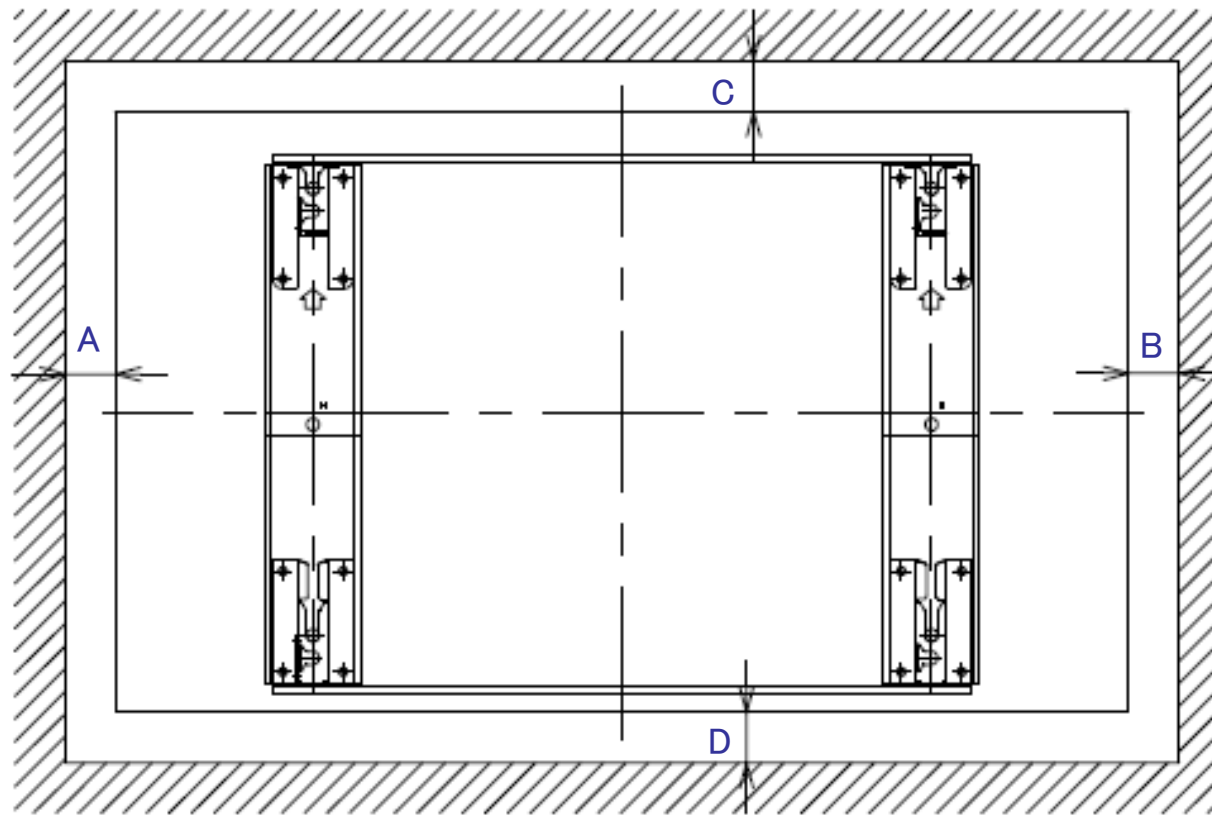
上下左右：100mm以上、後面：150mm以上の空間を確保して下さい。

壁埋め込み単体(横設置) 注意点

●以下の通りスペースを確保して下さい。

単位 : mm

A	B	C	D	E
100	100	100	100	50



環境条件: 温度 0℃～40℃ 湿度 10%～90% (結露のないこと) ※

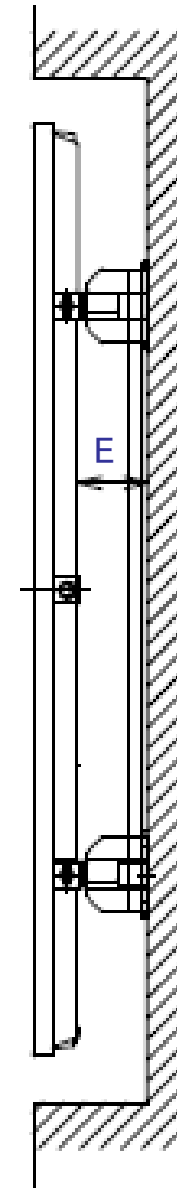
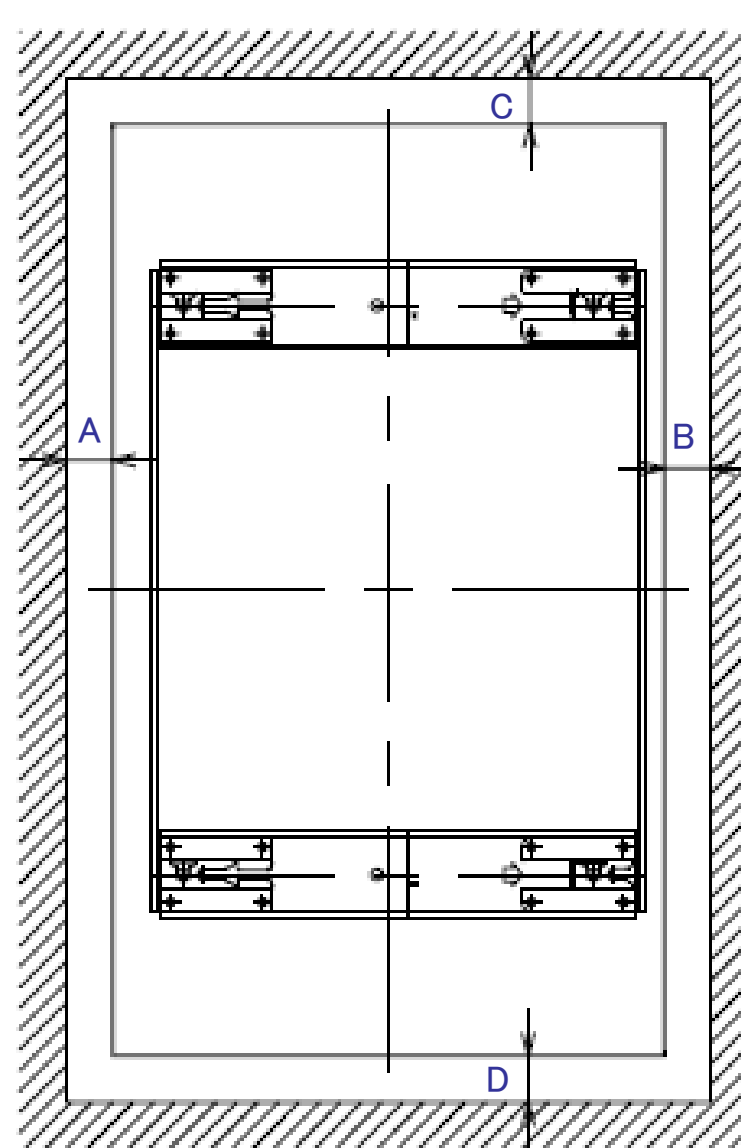
※ LJV8/LJV9 モデルは 湿度 20%～80% (結露のないこと)

壁埋め込み単体(縦設置) 注意点

- 以下の通りスペースを確保して下さい。

単位 : mm

A	100
B	100
C	100
D	100
E	50



環境条件: 温度 0℃～40℃ 湿度 10%～90% (結露のないこと) ※

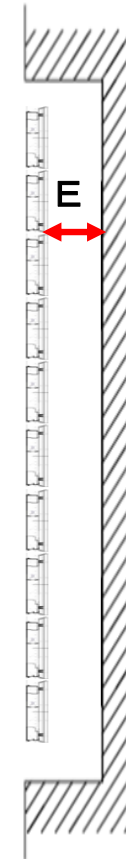
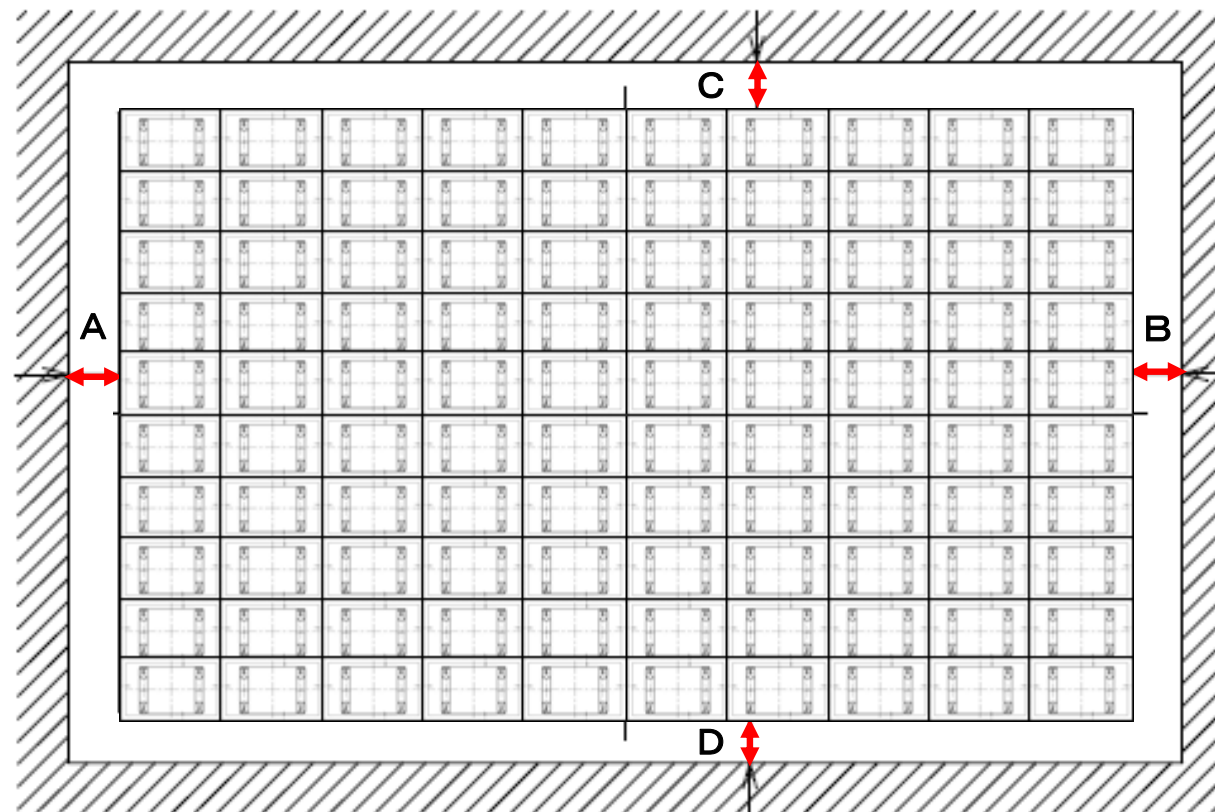
※ LFV8/LFV9 モデルは 湿度 20%～80% (結露のないこと)

壁埋め込みマルチ(横設置) 注意点

●以下の通りスペースを確保して下さい。

単位：mm

A	B	C	D	E
100	100	100	100	150



環境条件: 温度 0℃～40℃ 湿度 10%～90% (結露のないこと) ※

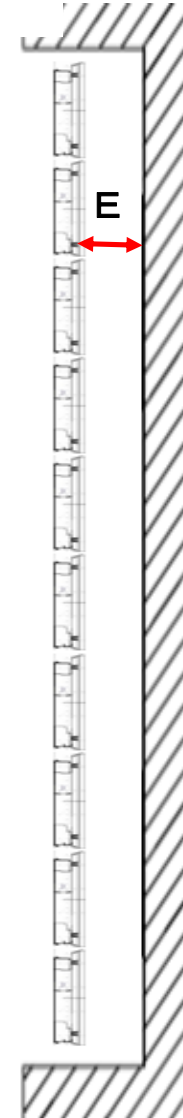
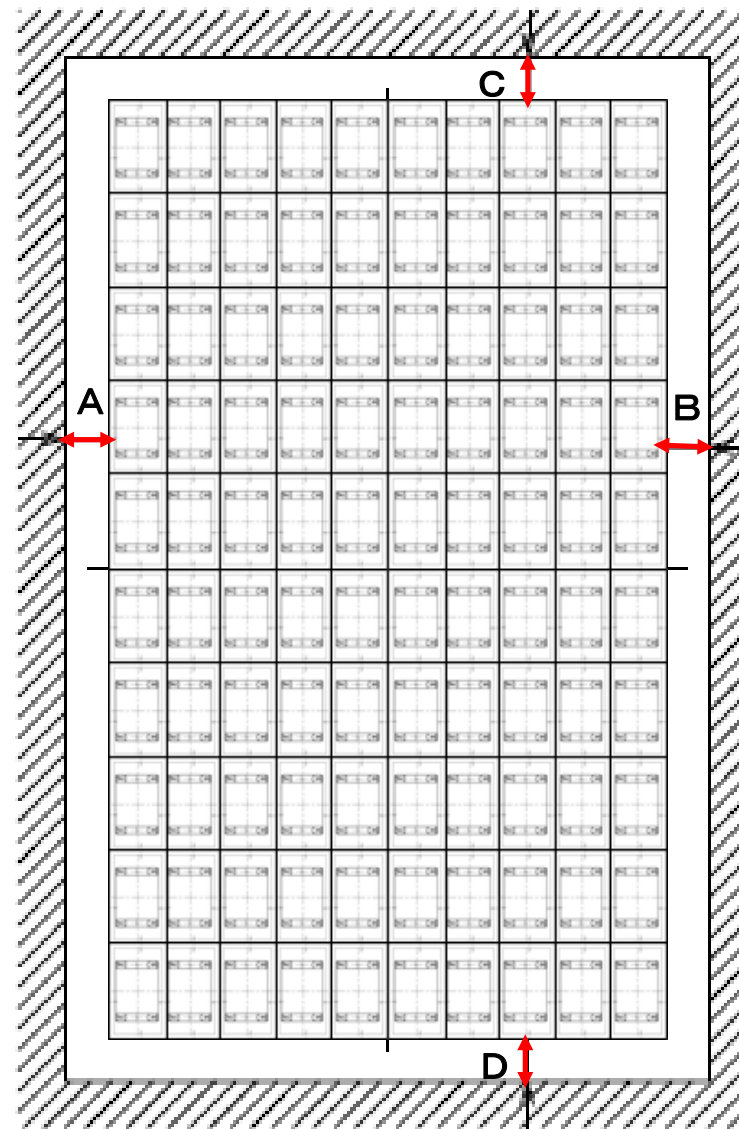
※ LFV8/LFV9 モデルは 湿度 20%～80% (結露のないこと)

壁埋め込みマルチ(縦設置) 注意点

- 以下の通りスペースを
確保して下さい。

単位 : mm

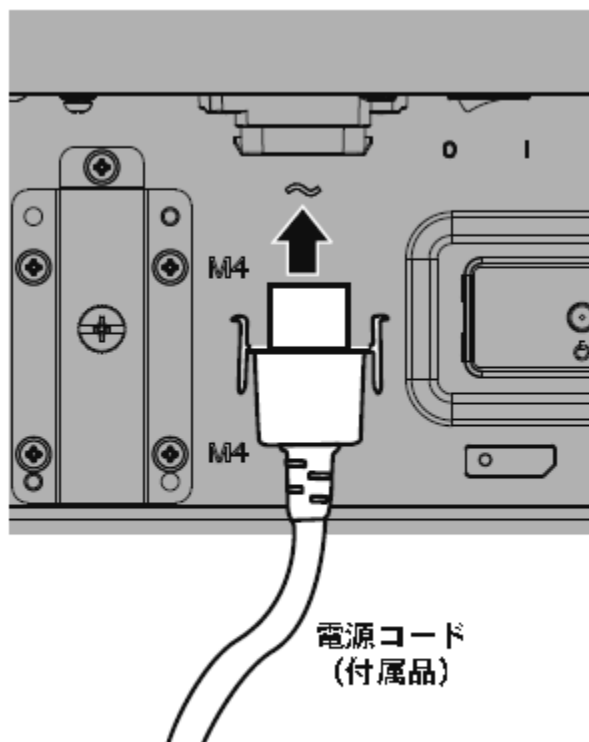
A	100
B	100
C	100
D	100
E	150



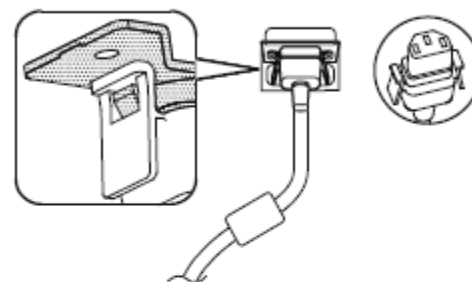
環境条件: 温度 0℃～40℃ 湿度 10%～90% (結露のないこと) ※

※ LFV8/LFV9 モデルは 湿度 20%～80% (結露のないこと)

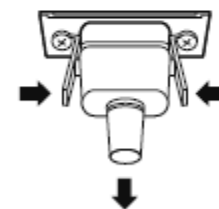
電源の接続について



- 電源コードを本機に取り付けます。
- カチッと音がするまで電源コードをしっかりと差し込みます。電源コードの左右がロックが掛かっていることを確認してください。



- コネクター横のつまみを押しながら抜いてください。



お知らせ：電源コードを外すとき。

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

注意

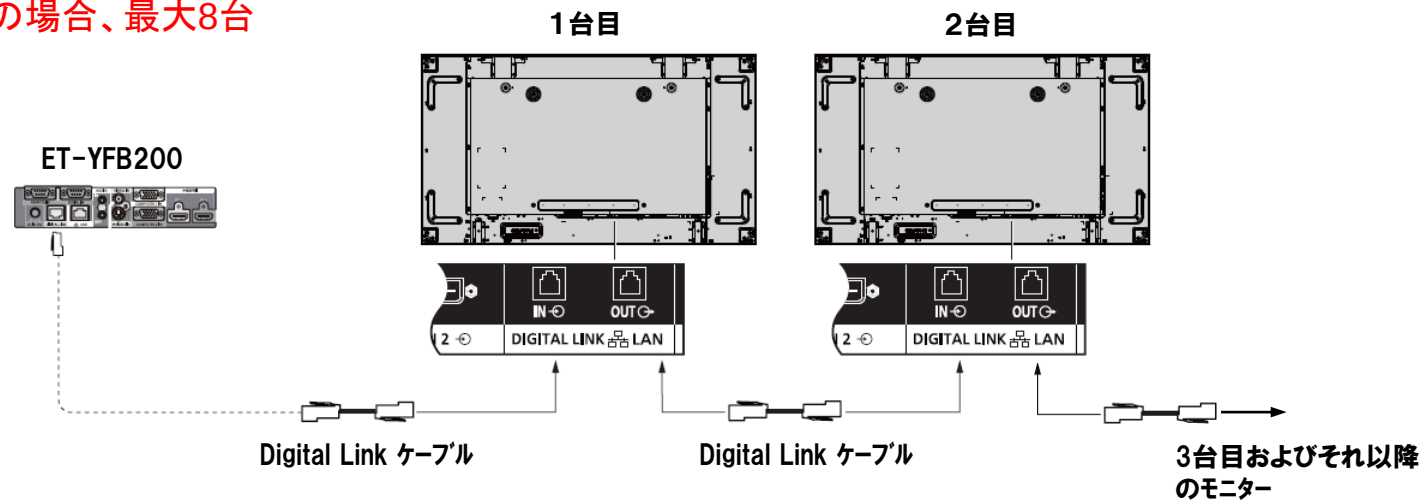
- 電源コードは必ず同梱のものを使用し、確実に接続して下さい。
- 同梱以外のケーブルを使用した場合、接触不足により発煙や火災に至る可能性があるため、絶対に使用しないで下さい。

DIGITAL LINK 接続 (VF1H/VF2H/VF2 モデル の場合)

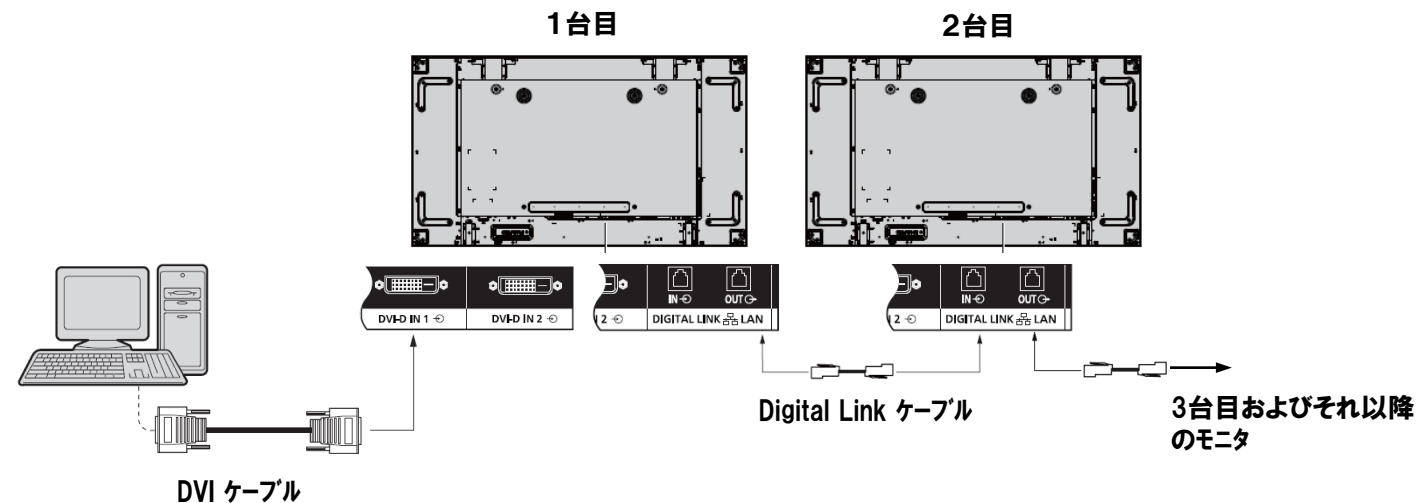
最大:10台

※HDCP信号ありの場合、最大8台

Digital Link 入力の場合



DVI 入力の場合

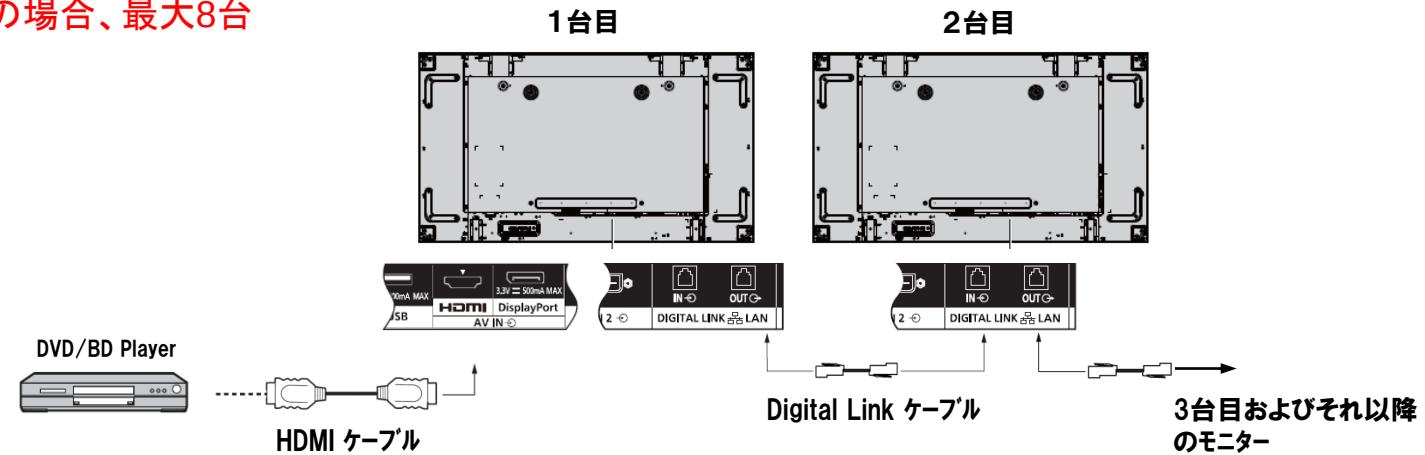


DIGITAL LINK 接続 (VF1H/VF2H/VF2 モデル の場合)

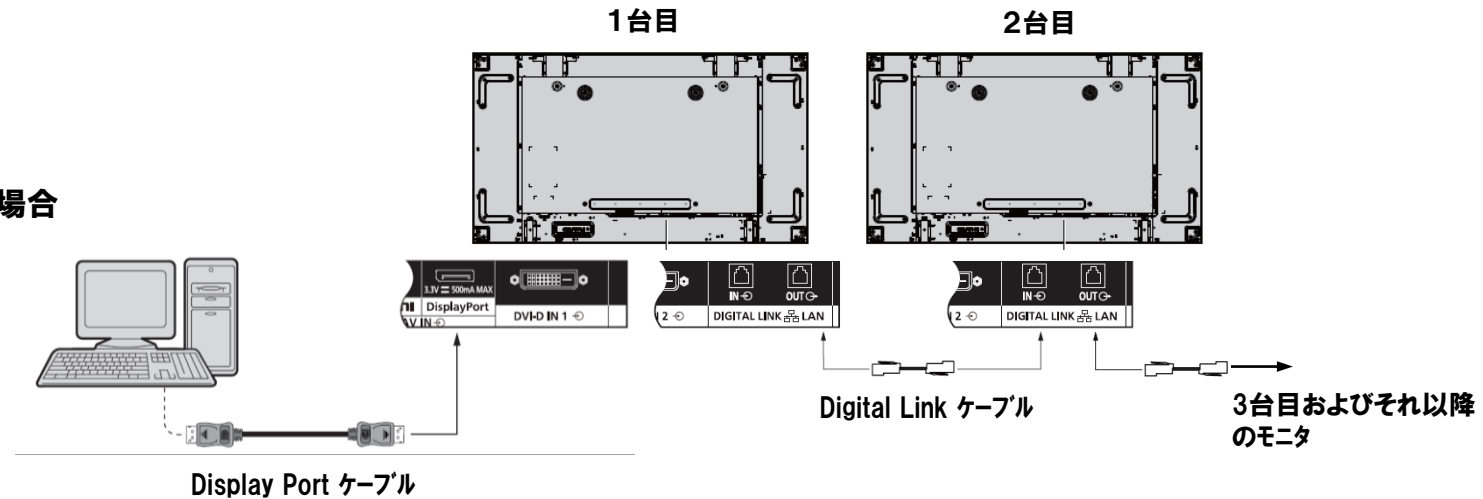
最大:10台

※HDCP信号ありの場合、最大8台

HDMI 入力の場合



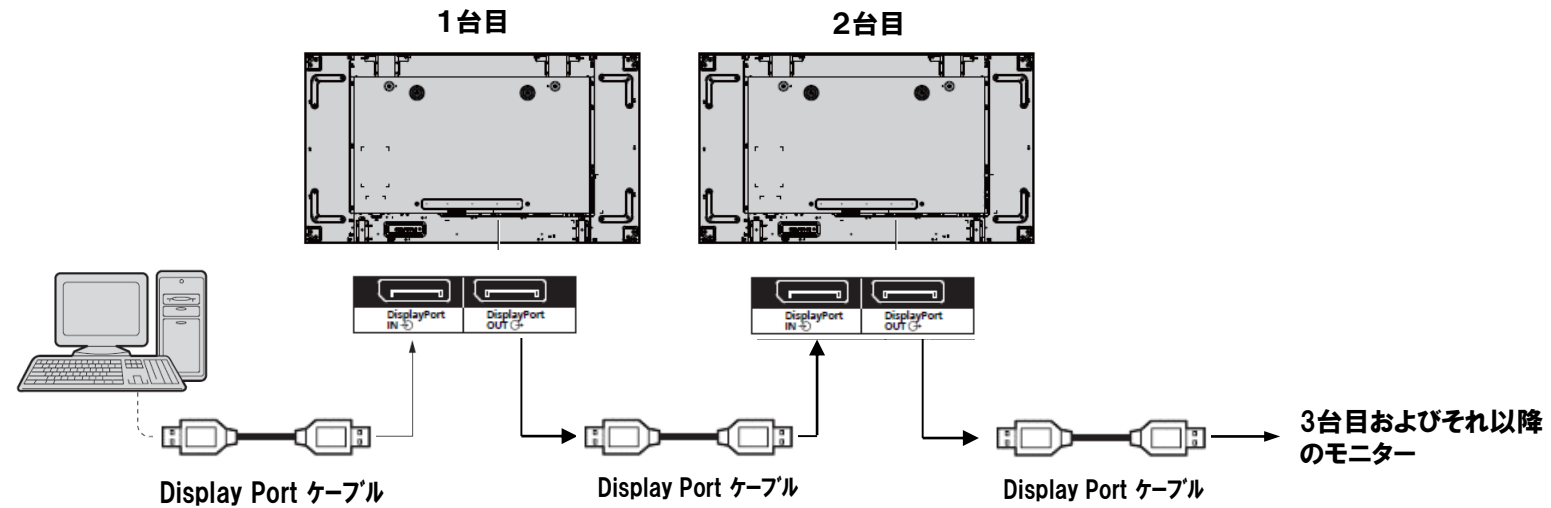
Display Port 入力の場合



Display Port デジチェーン 接続（LFV8/LFV9 モデル の場合）

最大:25台

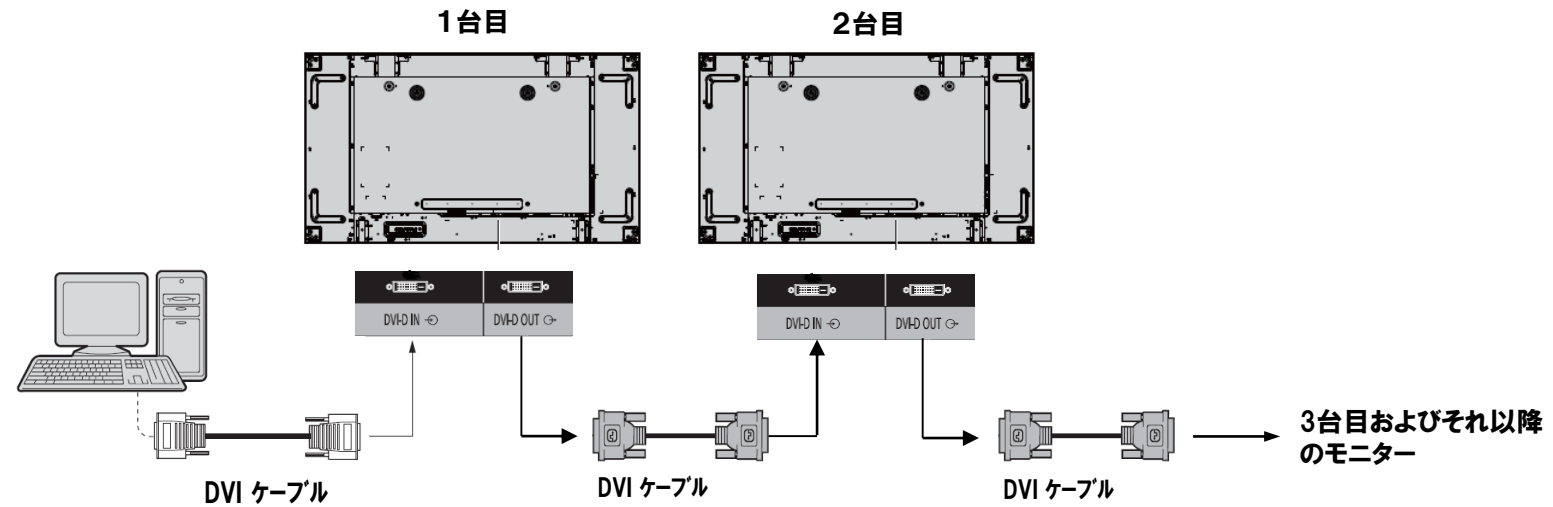
※HDCP信号ありの場合、最大8台



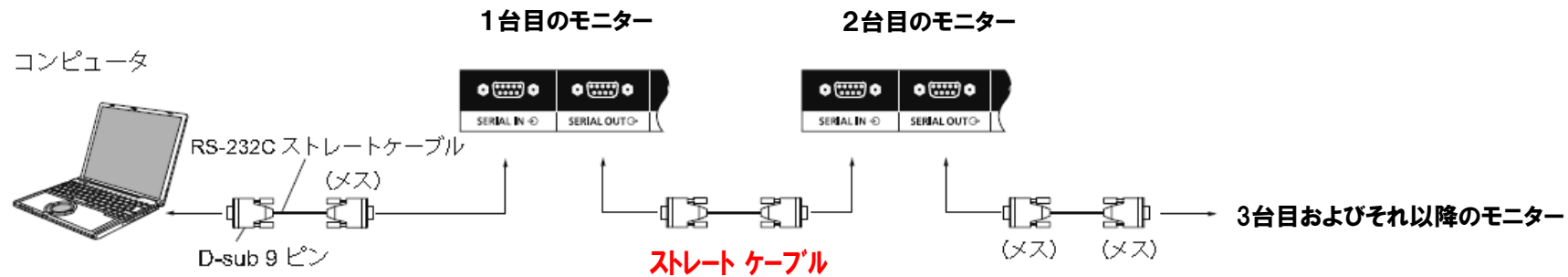
DVI デジチェーン 接続（LVF8/LVF9 モデルの場合）

最大:10台

※HDCP信号ありの場合、最大8台

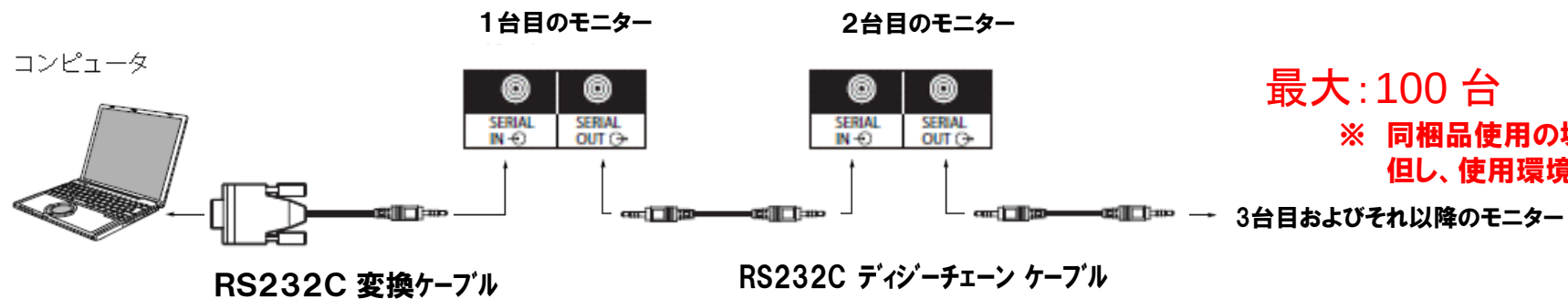


RS-232C 制御 (VF1H/VF2H/VF2 モデルの場合)



Digital Link ディジーチェーンにて制御を兼用する場合は、RS232Cの接続は不要です。
但し接続台数は、Digital Link 接続台数となります。

RS-232C 制御 (LFV8/LFV9 モデルの場合)

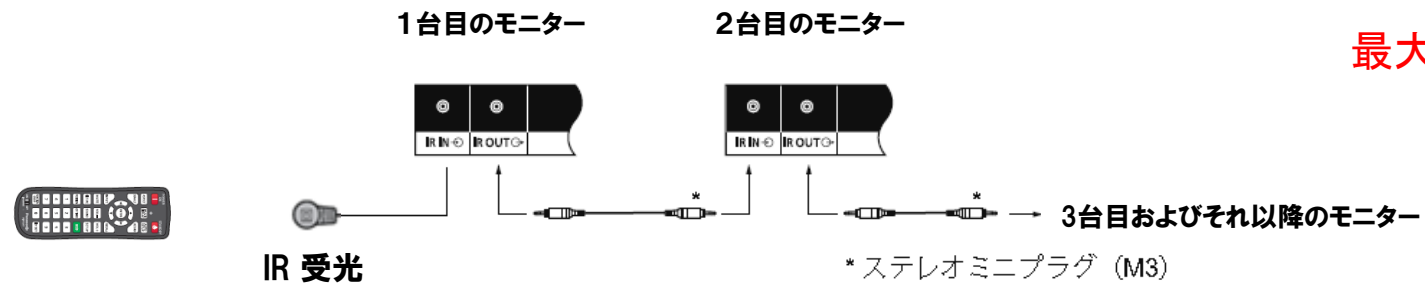


最大:100 台

※ 同梱品使用の場合
但し、使用環境で変わる場合があります。

PCとRS232C変換ケーブルを延長する時は、RS232Cストレートケーブルを使用して下さい。

リモコン IR 信号



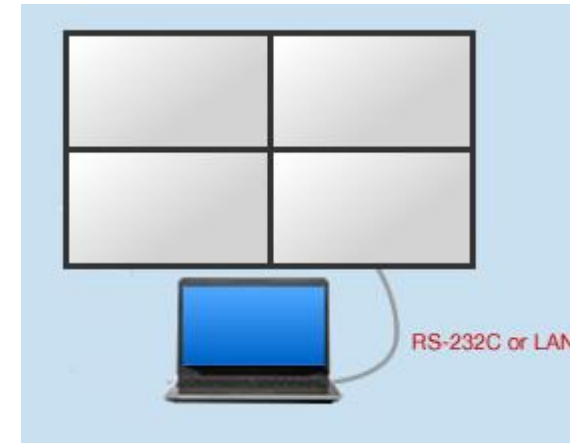
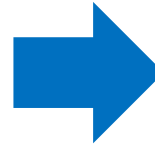
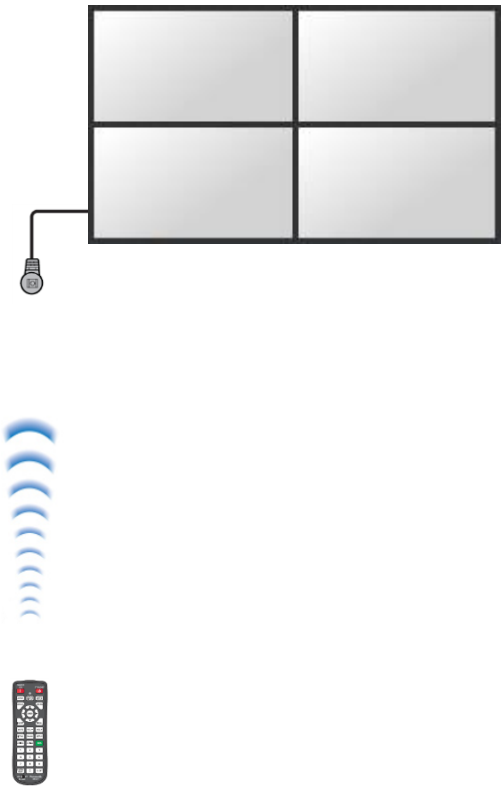
最大： 62 台： LFV8/LFV9

※ 同梱品使用の場合
但し、使用環境で変わる場合があります。

VF1H/VF2H/VF2の場合、
Digital Link デジチェーン にてリモコン IR信号を兼用する場合は、リモコン IR信号のデジチェーン接続は不要です。
但し接続台数は、Digital Link 接続台数となります。

◆ リモコン信号到達距離

外部IR受信機を接続した場合のリモコン
到達距離は直線距離で約7m

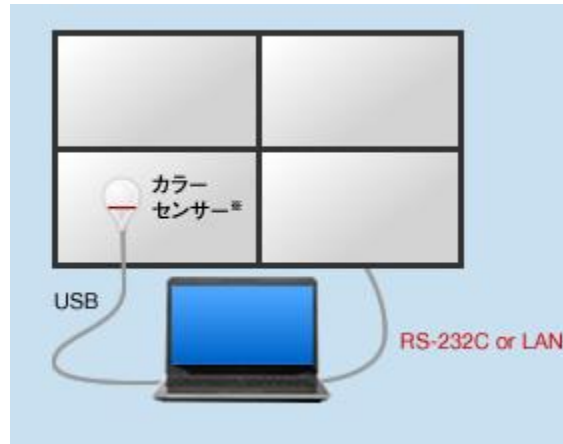


LAN あるいは、RS232C
で制御することを推奨いたします。

◆ カラーキャリブレーション

ビデオウォールマネージャー またはTY-VUK10 (自動ディスプレイ調整アップグレードキット) のマニュアルをご参照ください。

ビデオウォールマネージャー



カラーセンサーによる調整

TY-VUK10 (自動ディスプレイ調整アップグレードキット)



カメラを使用した自動調整

メンテナンスについて

正常な動作を維持するため、下記について定期的にご確認下さい。

- ・ モニターの給排気口（下記ピンク色で指示している部分）に埃が溜まっている場合は取り除いてください。放置していると、給排気が不十分となり温度上昇による動作異常が発生する場合があります。

